

安来市のコミュニティ・スクールとそれを支える安来市の地域について

学校を支える地域側の仕組みとして、国は「地域学校協働活動」という言葉を使いコーディネーターや推進員の配置を進めています。

安来市では、これを「安来市共育協働推進事業」という名前で、平成25年から取組を始めています。

「安来市共育協働推進事業」

未来を担う子どもたちの成長を支えるには、地域と学校が連携・協働し社会総掛かりで教育を行うことが必要であり、安来市では、幅広い地域住民や企業・団体等の参画を得て、子どもたちの成長を支え、学校・家庭・地域が連携・協働し、共に学び合い、育ち育て合う活動（共育協働活動）に取り組むことで、地域社会全体の教育力の向上を図るとともに、地域の活性化や子どもが安心して暮らせる環境づくりを推進していく。

中学校区での体制づくり

（地域コーディネーターの配置、地域共育推進協議会の設置）

また安来市には、各小学校区に交流センターがあり、以前から各小中学校とそれぞれつながりを持ち、学校とともに子どもの成長を支えていくという風土が、しっかりとあります。

安来市のコミュニティ・スクールは、この交流センター・地域コーディネーターとのかかわりを大切にしながら、体制づくりを進めていきます。

このようなコミュニティ・スクールの取組を通して、今後進んでいく学校の適正配置に対してもより良い学校と地域の連携・協働の形、地域でいかに子どもの育ちを支えていくかなどをしっかりと話題にさせていただき、地域の皆様には学校の応援団として地域と学校との新たなつながり方を検討いただきたいと思います。

安来市では、令和5年度より段階的に市内公立小中学校において学校運営協議会を設置し、安来市コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）を導入します。

令和5年度3学期からモデル校（広瀬小学校・広瀬中学校）に設置、そのほかの小中学校は令和6年度3学期から。

「地域とともにある学校づくり」を目指して！

学校運営協議会（CS）と共育協働活動

学校

地域

目標やビジョンを共有
どのような子どもを育てたいか
子どもにどのような力を付けさせたいか

学校運営協議会（CS）

学校と地域・保護者が知恵を出し合い、力を結集して、子どもたちのために学校をより魅力あるものにしていく話し合いをするところ

校長が作成する基本方針を承認
学校運営について意見・点検・評価
教職員の任用に関して意見

熟議 舵取り

共育協働活動

学校・家庭・地域が連携・協働し、共に学び合い育て合う活動

相互補完的な連携・協働



学習・授業支援

例えば…

（ふるさと教育、田植え体験動、学習補助）

行事運営支援（運営ボランティア）

放課後等支援（学習・体験・交流活動）

家庭教育支援（親学プログラム）

環境整備支援（登下校の見守り、草取り）

地域主催の活動（川遊び、地域行事）

協働 駆動力

学校運営協議会（CS）



地域

とにもある

学校づくり

共育協働活動



子ども

を核とした

地域づくり
人づくり